

## 新潟県障害者リハビリテーションセンター 令和5年度事業報告書

## 1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区分	職名	施設長	医師	サービス管理責任者	直接処遇職員							事務員	合計
					生活支援員	職業指導員	就労支援員	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	看護師		
基準定数①	1	1	1	1	常勤換算方法で6.8以上							1	
正規職員の配置②	1		1		3		1	1		1		1	9
正規職員以外のものの配置③			[1]		8				1	1	1	1	12 [1]
現員計 ②+③=④	1		[1]	1	11		1	1	1	2	1	2	21 [1]

注) 嘱託医は [ ] 内で記入

## 2 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男性	女性	計
入所者数	16	5	21
退所者数	19	6	25
在籍利用者数 (施設入所)	30 (13)	6 (0)	36 (13)

◎年間延べ利用者数 ( ) は前年度

施設入所	機能訓練	就労移行	生活介護	短期入所	合計
4,327 (4,242)	4,598 (5,076)	911 (1,205)	1,043 (1,102)	38 (14)	10,917 (11,639)

### 3 生活介護又は施設入所支援の実施状況

(当該年度実績)

<p><b>生活介護</b></p> <p>個別支援計画を基に支援を行っている。</p> <p>来所時にバイタルチェックを行い利用者の体調管理を行っている。また、日中活動は手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング、グループワーク等をとおして趣味の拡大、社会生活能力の向上に向けて支援している。</p> <p>必要に応じて医学的リハビリ（PT・OT・ST）に取り組んでいただき自立支援を行っている。</p> <p><b>施設入所支援</b></p> <p>個別支援計画を基に支援を行っている。</p> <p>高次脳機能障害や身体機能面で自立できない利用者に対して、介助や支援をとおして自立支援を行っている。</p> <p>また、服薬管理、生活習慣や食生活等の健康管理を看護師、管理栄養士の指導のもと支援している。</p>
---

### 4 自立訓練又は就労移行支援の実施状況

(当該年度実績)

<p><b>機能訓練</b></p> <p>個別支援計画に基づいて、PT・OT・STと連携を取りながら機能向上に向けた支援を提供している。主なサービス内容は、手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニングである。目的は、身体機能の向上、高次脳機能障害の改善、資格取得、基礎学力向上、趣味の拡大等である。</p> <p>また、社会生活能力の向上を目的に外出訓練、調理実習、グループワーク等に取り組んでいただき機能向上とともに社会生活能力の向上に向け支援している。</p> <p>自動車運転再開のニーズも多く、医師、自動車学校と連携して支援を行っている。</p> <p><b>就労移行支援</b></p> <p>個別支援計画に基づいて、一般就労や復職を目的とした支援を行っている。具体的には、パソコンの資格取得などの職業スキルの向上や履歴書・職業経歴書の作成指導、採用面接に向けた支援を行っている。また、OAWorkという訓練版ソフトを用いて、事務的な作業に近い形の支援も行っている。</p> <p>さらに、復職先や実習先と利用者の連絡調整を行いながら、利用者へのアドバイスや、企業側に必要な配慮を伝えるなどの支援を行っている。近年は、在宅就労に向けた支援も多く、オンライン面談のための環境設定なども実施している。</p>
--

## 5 令和5年度の概況

令和5年度は、職場の心理的安全性を向上させるために、組織およびチームの関係性やカルチャーの変革に粘り強く取り組んだ年である。利用者数は年度当初の目標には達しなかったため、事業収入は前年に比べて減少した。利用者数は伸び悩んだものの、職員の変動を最小限に抑え、事業収支は黒字を維持することができた。また、職員の離職については、令和4年度には常勤職員を含む6名の退職者がいたのに対し、令和5年度は非常勤職員3名の退職にとどまった。

このような中、心理的安全性を高めるための改善活動に粘り強く取り組んだ結果、心理的安全性の4因子である「話しやすさ」「助け合い」「挑戦」「新奇歓迎」の行動が徐々に増加していった。

職場に心理的安全性がつくられることにより、チーム力が向上し、新規利用者の獲得活動や利用者の行動変容を促す具体的な行動計画が進められ、職員一人ひとりがリーダーシップを意識した行動を取るようになった。結果として、職員一人ひとりが成果を上げるために必要な行動を取るマインドが高まった年であると考えられる。

利用者支援の状況については、一般就労・復職者5名（前年度8名）、福祉的就労4名（前年度7名）、就労以外で地域移行16名であり、加算の評価となる就労者数は少なかったものの、他機関と連携して地域移行できた点は十分に評価できる。

## 6 健康管理・衛生管理の状況

### (1) 利用者の健康診断の状況

(当該年度 3月31日現在)

期 日	受診済人数	検 査 内 容	実 施 状 況
R5年7月4日 7月10日	12人 *利用者個々の状況は把握	身長・体重・BMI・ 握力・血圧・検尿・ 胸部X線・診察	新潟県障害者 リハビリテーションセンター 嘱託医
R6年2月6日 2月14日	8人 *利用者個々の状況は把握	身長・体重・BMI・ 握力・血圧・検尿・ 胸部X線・診察	新潟県障害者 リハビリテーションセンター 嘱託医

### (2) 職員の健康診断の状況

(当該年度 3月31日現在)

期 日	受診済人数	検 査 内 容	実 施 状 況
R5年5月、6月	10人	問診・身長・体重・視力・聴力・血圧・検尿・血液一般・腹囲測定・心電図・胸部X線	新潟県障害者 リハビリテーションセンター ゆきよしクリニック
	8人	問診・身長・体重・視力・聴力・血圧・胸部X線	

## 7 地域生活移行計画の実施状況

(当該年度実績)

各々の利用者の個別支援計画に基づいて、市町村及び相談機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定一般相談支援事業所等と連携して行っている。

8 サービス向上計画の実施状況

(1) 自己評価・第三者評価の実施状況

(当該年度 3月31日現在)

第三者評価			
実施の有無	評価実施機関	実施時期	実施内容
有	公益社団法人 新潟県介護福祉士会	令和5年度	書面調査、利用者調査、 訪問調査

(2) 意見箱、利用者アンケート等の実施状況

(当該年度実績)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情・要望等の受付 苦情：8件 要望等：7件 (その都度、職員会議等で検討・対応を行っている)。</li> <li>・利用者満足度調査 2月上旬に実施</li> <li>・食事アンケート調査 2月上旬に実施</li> </ul>
--

(3) オプションサービスの実施状況

(当該年度実績)

<p>「その他の日常生活費」より、以下のサービス内容の実績があり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私用のコピー、FAXの使用</li> <li>・医療機関等への付添い送迎</li> </ul>
---

(4) その他サービス向上のための取組

(当該年度実績)

<p>祝日・休日の訓練実施。R5年度は、合計8日営業した。 日曜日に開催された「ふれ愛まつり」へ参加した。 祝日・休日の訓練実施により活動量の維持を図った。</p>
--

9 利用者拡大計画の実施状況

(1) 広報・普及活動

(当該年度実績)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者及び問い合わせ者へパンフレット配布する</li> <li>・オフラインの見学説明会の実施</li> <li>・医療機関での施設説明会の実施</li> <li>・イベント（SiP、24時間テレビ、ふれ愛まつり）で作業体験会を実施</li> <li>・ホームページのリニューアル</li> <li>・SNS（Instagram）の活用</li> <li>・一般の方に向けた漫画リーフレットの配布</li> </ul>
---

(2) その他利用者拡大のための取組

(当該年度実績)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関、行政機関、相談支援事業所等の職員、障害当事者（家族）を対象とした施設の見学・相談を随時実施する</li> </ul>
---

## 10 権利擁護計画の実施状況

## (1) 苦情解決の仕組みへの取組み内容

(当該年度 3月31日現在)

	設置の有無	誰をあてているか(職・氏名)
苦情受付担当者	①・無	看護師 佐久間 朋子
苦情解決責任者	①・無	所長 西片 寿仁
第三者委員	①・無	笠井 友治郎(元大学教員・元身体障害者更生相談所長) 渡辺 啓子(亀田小学校区コミュニティ協議会副会長)
苦情解決のための要領、マニュアル等の作成の有無		①・無

## (2) 苦情解決の仕組みの周知方法

(当該年度 3月31日現在)

利用者・家族等への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	①・無	有・②	①・無	
受付けた苦情内容及び解決結果の公表方法	事業報告書への掲載	会報等への掲載	その他	
	①・無	有・②	居住棟に掲示・利用者朝会で報告	

## (3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度実績)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所としてどのような体制(例:責任者の設置等)を整備しているか。 苦情受付の担当者を定め、虐待又はその疑いがある場合は、口頭や苦情受付箱への投書が出来る様に体制を整えている。</li> <li>・事業所としてどのような取り組み(例:研修の実施、掲示等)を行っているか。 利用者朝会・職員朝会・各種会議において、人権擁護等についての話題を取り上げ、職員と利用者が共に考え対応できるように、常に注意喚起を促している。入浴時に、注意し身体虐待の痕跡等観察を行っている。利用者間の人間関係に留意し、早めの対応が出来る様に努めている。オンラインにて、虐待防止に関する研修を全職員受講している。職員に虐待に対するアンケートを実施している。</li> </ul>
---

## (4) 身体拘束の有無

(当該年度実績)

身体拘束の方法	件数	身体拘束の必要な理由	記録の有無	家族等の確認の有無
無し				

## 1 1 家族・地域・関係機関等との連絡体制計画の実施状況

(当該年度実績)

個別支援計画策定後、サービス担当者会議を開催し必要に応じて、本人、家族、市町村障害福祉課、指定特定相談支援事業所、担当ケアマネージャーを含め支援計画の周知を行っている。

## 1 2 環境への配慮

(当該年度実績)

ゴミの分別に努め、資源ごみのリサイクル活用に貢献する。カラーコピーの使用を最小限にし、必要枚数以上の印刷はしないように努める。裏紙の再利用を積極的に行う。暖房の設定温度(暖房 20 度・冷房 26 度)を守る。9 時と 13 時に居室の照明、エアコンの切り忘れがないか巡回を行う。順次、照明を LED に切り替えている。職員間の情報共有はオンラインで行いペーパーレスに努めている。

## 1 3 災害事故防止対策の状況

## (1) 防火管理者の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

防火管理者職・氏名	交流センター 所長 丸田 徹	防火管理者講習会受講	18 年 9 月 6・7 日 受講
防火管理者選任年月日	H18 年 11 月 2 日 選任	消防署への届出	H18 年 11 月 2 日 選任

## (2) 消防計画の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防計画作成年月日	18 年 4 月 1 日 作成	消防署への届出	18 年 4 月 1 日 届出
職員への周知状況	「防災計画」「事故対応・防災計画書」の個人配布		
地震、台風等災害計画	「防災計画」の中に記載		

## (3) 防災体制の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

近隣施設・地域住民との協力体制	最終避難所として 向陽の里・あさひ園・亀田公園
夜間勤務職員の役割の明示	新潟ふれあいプラザ災害時の職員初動の体制に記載

## (4) 消防署の立入検査の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防署の立入検査の実施 (直近のもの)	年 月 日 実施	所轄消防署名	
改善指示 の内容	※ふれ愛プラザの報告に 準ずる	左に対する 改善状況	消防署に対する 改善報告年月日
			年 月 日

(5) 消防・防災訓練の状況 ※ふれ愛プラザ全体の訓練 (5月・11月)

(当該年度実績)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
消防訓練 (該当箇所に○印)	実施日	24日	24日	16日	24日	21日	25日	30日	21日	29日	29日	22日	27日	12	
	実施内容	避難	○	○	○	○	○	夜	○	○		夜	夜		10
		救助													
		通報		○				夜		○		夜	夜		5
		消火		○						○					2
	消防署への事前通知														
	消防署の立会い														
	近隣施設、地域住民の参加														
その他の防災訓練 (地震、水害、伝達訓練)		○		○	○	○	夜	○		○	夜	夜	○	10	
消防器具・避難経路等の自主点検										○				1	
消防署による 検証指導の実施		(実施済のときは、実施年月日及び指導内容) 実施年月日： 指導内容：													

(「○」…実施、「夜」…夜間想定訓練)

1.4 職員の資質向上等人材育成の状況

(1) 職員会議等の開催状況

会議名	開催日	記録の有無	参加者
職員会議	不定期	⑦・無	訓練配置以外の全職員
支援会議	毎週水曜日	⑦・無	訓練配置以外の支援員・看護師
経営戦略会議	第2水曜日	⑦・無	管理部長、事務局長、所長

## 新潟県障害者リハビリテーションセンター

## (2) 職員研修の状況

(当該年度実績)

	主催	研修名	実施年月日	参加者
内部研修	研修委員会	サポカレ「障害者虐待防止 (1)」	4月	職員全員
		サポカレ「てんかんに関する基礎知識」	5月	職員全員
		サポカレ「障害者虐待防止 (2)」	6月	職員全員
		サポカレ「高次脳機能障害に関する基礎知識」	7月	職員全員
		サポカレ「福祉施設の個人情報管理」	8月	職員全員
		サポカレ「障がい者支援の基礎」「日常的感染対策」	9月	職員全員
		サポカレ「社会リハビリテーションと社会生活力プログラム」	10月	職員全員
		事故の要因分析について	12月	職員全員
		怒りやストレスのコントロール術	1月	職員全員
		NST 勉強会 口腔衛生の基礎知識	2月	職員全員
		感染症との拡大防止のための基礎知識、当施設の非常災害時のBCPについて	3月	職員全員
		救命救急講習	6月21日	防、鈴木(公)、芳賀
		外部研修	全国障害者自立訓練事業所協議会	中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会・研修会
全国障害者自立訓練事業所協議会総会・研究集会	11月28～30日			秋山
新潟県	サービス管理責任者実践研修		11/1, 11/20, 11/20	永井
障害者就業・生活支援センター	障害者就業支援ネットワーク連絡会議		2月20日	吉井